

古切手で社会貢献

市民ら120人が交流 夢豊会が30周年記念大会



集まった使用済み切手を整理する参加者たち
＝長崎市茂里町、県総合福祉センター

古切手を集めて社会貢献活動をするボランティア団体が、夢豊会（山田彊会長）は9日、長崎市茂里町の県総合福祉センターで「古切手フェスティバル30周年記念大会」を開き、市民ボランティアら約120人が交流を深めた。

夢豊会は長崎市旭町の永田友誼医師（故人）がナビで9500円になるとい

1977年に設立。古切手と始めた活動を引き継ぎ、座小1年の龍優大君（7）は「アニメのキャラクターな

のサポーターなど幅広い活動をしてる。全国各地から届いた使用済み切手を届いた使用

楽しい」と話した。
(左海力也)